

新スコアリングシステムについて

【新スコアリングシステムの概要】

- ・ 全種別21点3ゲーム（2ゲーム先取）のラリーポイント方式とする。
- ・ 20-20になった場合2点の差がつくまで続けるが30-29になったら終了する。
- ・ 各ゲームで一方のポイントが11点になった時に1分のインターバルをとる。
- ・ ゲーム間は2分のインターバルをとる。
- ・ 単複共にラリーに勝った方が次のサービスを行う。
- ・ シングルのサービスは現行と同じ。
- ・ ダブルスのサービスは次のようになる。（ダブルスのセカンドサービスはない）
 1. サービス側がラリーに勝った場合は同一サーバーが左右を変えてサービスを行う。
 2. レシーバーがラリーに勝った場合はレシーバー側が次のサービスを行うが自得点が偶数なら右から、奇数なら左から、その位置にいるプレーヤーがサービスを行う。
 3. 見方を変えると、サービスで得点した時に左右交替し、サービスが戻ってきたときには前回と異なるプレーヤーがその位置からサービスを行うこととなります。

【特徴】

- 1 サービス側がフォルトをすると相手の得点になる（ラリーポイント制）
- 2 ダブルスのセカンドサービスがなくなる。
- 3 セティングの代わりにジュースとなる。
- 4 ゲームの途中で1分のインターバルが新設された。
- 5 ファイナルゲームの前のインターバルは2分となる。

噂にあった「ダブルスロングサービスラインがなくなる」は不問になりました。

新制度になって迫力のある試合が展開され、時間の短縮が図られるかが期待されます。

AB組対CD組のダブルスマッチ。AB組がトスに勝ちサービス権を選択。AがCにサーブする。Aが最初のサーバーとなり、Cが最初のレシーバーとなる。

行動方針/説明	スコア	サービスコート	サーバー&レシーバー	ラリーの勝者		
	0-0	右サービスコートから。サービングサイドのスコアが偶数。	AがCにサーブする。AとCが最初のサーバーとレシーバーとなる。	AB組	C	D
					B	A
AB組が得点。AB組はサービスコートを替える。Aが左サービスコートからサーブする。CD組は同じサービスコートに残る	1-0	左サービスコートから。サービングサイドのスコアが奇数。	AがDにサーブする。	CD組	C	D
					A	B
CD組が得点し、サービス権を獲得。サービスコートの移動はない。	1-1	左サービスコートから。サービングサイドのスコアが奇数。	DがAにサーブする。	AB組	C	D
					A	B
AB組が得点し、サービス権を獲得。サービスコートの移動はない。	2-1	右サービスコートから。サービングサイドのスコアが偶数。	BがCにサーブする。	CD組	C	D
					A	B
CD組が得点し、サービス権を獲得。サービスコートの移動はない。	2-2	右サービスコートから。サービングサイドのスコアが偶数。	CがBにサーブする。	CD組	C	D
					A	B
CD組が得点。CD組はサービスコートを替える。Cが左サービスコートからサーブする。AB組は同じサービスコートに残る。	3-2	左サービスコートから。サービングサイドのスコアが奇数。	CがAにサーブする。	AB組	D	C
					A	B
AB組が得点し、サービス権を獲得。サービスコートの移動はない。	3-3	左サービスコートから。サービングサイドのスコアが奇数。	AがCにサーブする。	AB組	D	C
					A	B
AB組が得点。AB組はサービスコートを替える。Aが右サービスコートからサーブする。CD組は同じサービスコートに残る。	4-3	右サービスコートから。サービングサイドのスコアが偶数。	AがDにサーブする。	CD組	D	C
					B	A

注釈： ・サーバー順はシングルスと同様にスコアの奇数、偶数により決定する。

サービスコートはサービングサイドが得点したときにサービングサイドが替わる。その他の場合には、プレイヤーは前回のラリー時のサービスコートに残る。またこれは交互にサーバーが入れ替わる。これは交互のサーバーを保証するものとする。